

# 始めよう簡易放牧

平成18年12月 宮城県産業経済部畜産課

放牧は、牛が草を食べ、ふん尿が農地へ還元され、また草が再生し、牛が食べるという自然循環型の農業です。また、適度な運動をすることにより牛の健康づくりとしても効果があります。県内でも電気牧柵を利用した「誰でも、手軽に出来る」簡易放牧が普及し始めました。あなたも簡易放牧に取り組んで見ませんか。



(遊休桑園を活用した放牧 南三陸町)



(水田を活用した放牧 栗原市)

## 簡易放牧のメリット

- ① 牛のエサ(草)確保 (飼料自給率の向上)
  - ② 飼料給与やふん尿処理等の飼養管理作業の軽減
  - ③ どこでも、誰でも手軽に設置が出来、費用も安価 (撤収も容易)
  - ④ 耕作放棄地(遊休農地)の解消や景観保全等の農山村環境の改善
- ⇒省力化と低コスト化

放牧前

上段 遊休桑園 / 下段 遊休水田



放牧1ヶ月後



放牧20日後





## 電気柵の設置の手順



- ① 電気柵線を張る周囲の草を刈り払います。  
② 主要な所へ主柱を設置



- ③ 主柱を起点に電気柵線を張ります。(支柱は、設置しておきます。)



- ④ 支柱へ電気柵線を通します。(線は、2段or3段とします。)



- ⑤ 電気柵線を設置(写真は、2段張り)します。



- ⑥ ゲートの設置(牛の出入り口)します。

### ここまで使用した主な資材



主 柱



支 柱



電気柵線(写真は250m巻)

次は、電源の設置です。使用する資材は、ソーラーパネル、バッテリー、アース等です。電源は、発電・充電を繰り返しますので、夜間や曇天の日でも対応できます。



- ⑦ ソーラーパネルを南向きに設置します。



- ⑧ パネル設置後パワーユニットを取り付けます。



- ⑨ バッテリーを設置し、パネル・ユニットと接続



⑩ アースを設置します。(土中に埋め込み)



⑪ ユニット(左)とアース(右)を接続します。



⑫ ユニットと電気牧柵線を接続します。

### 放牧の馴致

これで電気牧柵の設置は完了です。後は、電源を入れ、電気の流れる電圧テスター等で確認し、牛を放牧します。しかし、その前に放牧馴致が必要です。馴致は、電気牧柵を覚えさせることと外の環境に慣らすことです。



悠々と草をはむ牛

### 電気牧柵の設置に要する経費

牧場名	資材名	金額(円)	備考
A牧場	①電源関係(ソーラーパネル、パワーユニット、アース、バッテリー、電圧テスター等)	91,000	外周:720m 面積:1ha 電気牧柵線: 3段張り (遊休草地)
	②電気牧柵関係(主柱、支柱、電気牧柵線、ゲートハンドル等)	154,700	
	計	245,700	
B牧場	①電源関係(ソーラーパネル、パワーユニット、アース、バッテリー、電圧テスター等)	91,000	外周:200m 面積:0.4ha 電気牧柵線: 2段張り (草地)
	②電気牧柵関係(主柱、支柱、電気牧柵線、ゲートハンドル、リールスタンド等)	57,500	
	計	148,500	
C牧場	①電源関係(ソーラーパネル、パワーユニット、アース、バッテリー、電圧テスター等)	91,000	外周:500m 面積:0.8ha 電気牧柵線: 2段張り (遊休水田)
	②電気牧柵関係(主柱、支柱、電気牧柵線、ゲートハンドル等)	113,500	
	計	204,500	

※ 電気牧柵設置に要する経費は、外周や面積により主柱、支柱、電気牧柵線等の電気牧柵関係の資材費が変動します。水田のような土地では、比較的安く設置できます。また、自己保有の資材などを活用することにより、設置費用を安くすることも出来ます。



## 放牧の主な留意点

- 1 放牧を行う前には必ず馴致を行いましょ。
- 2 衛生対策を実施しましょ。  
ダニ駆除のための薬を塗布しましょ。
- 3 水飲み場の設置  
水飲み場の設置は、必ず必要です。牧区の一隅に必ず設置しましょ。  
水飲み場は、ポリタンクや沢水の活用等により設置できます。また、市販の水槽も有ります。
- 4 日々の牛や放牧地の観察  
牛の健康状態とともに、エサである草の状態を確認することが大切です。草が不足すると、牛はエサを求めて脱柵したりする危険がありますので、日々の観察が大切です。

放牧に取り組む前に、最寄りの家畜保健衛生所・畜産振興部、農業改良普及センター等に相談してください。

## 簡易放牧に対する各種支援事業

事業名	事業内容	補助率
1 草地畜産生産性向上対策事業【ALIC】	農協・放牧集団等が持続型草地畜産を行うのに必要な施設等（電気牧柵等）への補助	2分の1以内
2 地域肉用牛振興対策事業【ALIC】	日本型放牧の推進に必要な電気牧柵等の整備に補助	2分の1以内
3 みやぎの簡易放牧普及促進事業【全農】	農協が簡易放牧の普及促進を図るため、実証展示の電気牧柵等の整備に助成	定額 200千円以内
4 強い農業づくり交付金（飼料増産の取組）	日本型放牧推進の取組に対し、必要な電気牧柵等の整備に補助	2分の1以内
5 中山間地域等直接支払交付金	中山間地域において、耕作放棄地の発生防止・復旧などの一定の要件を満たしているときに電気牧柵等の整備に支援することが可能	定額
6 耕畜連携推進対策（水田飼料作物生産振興事業）	水田における田地化の飼料生産、稲発酵粗飼料、 <u>水田放牧</u> 等の取組に補助（産地づくり交付金への上乗せ）	13千円/10a 以内

※ 補助区分：表中の【ALIC】は、(独)農畜産業振興機構の畜産振興事業。【全農】は、全農宮城県本部の助成事業。その他の事業については、国の交付金等。

## 主な問い合わせ先

栗原地方振興事務所畜産振興部 TEL0228-22-2487	仙台家畜保健衛生所 TEL022-257-0921
石巻地方振興事務所畜産振興部 TEL0225-95-1438	大崎家畜保健衛生所 TEL0229-91-0729
大河原家畜保健衛生所 TEL0224-53-3538	登米家畜保健衛生所 TEL0220-22-2349
宮城県産業経済部畜産課草地飼料班 TEL022-211-2852	